

Combined Fleet Girls COLLECTION FAN BOOK

おしっこれくしょん 軽巡洋艦編 上

PISS-COILLE
Light Cruisers
Former Part

Volume 07 for ADULT ONLY

工作艦 明石のつぶやき

裏垢 @OYDlove
勤務だん。つかれたー

裏垢 @OYDlove
この鎮守府出撃大杉。私も働き杉。むかしトラックで働いてたころより忙しい気がする

裏垢 @OYDlove
艦装直すのも艦娘をケアするのも大好きだけどうるおいがほしい

裏垢 @OYDlove
しばらく大淀の顔も見てない。病みそう

裏垢 @OYDlove
大淀をケアしたい。性的な意味で

裏垢 @OYDlove
.....

裏垢 @OYDlove
シコった

裏垢 @OYDlove
生活にうるおいはなくてもあそこはうるおう。艦娘ってへんなの

裏垢 @OYDlove
いつも思うけど瑞鶴はなんで被弾したらあんなに剥げるの。クソシコいんですが

裏垢 @OYDlove
瑞鶴の身体触ってると大淀思いだす

裏垢 @OYDlove
2回目のシコ。忙しいほどなぜか回数が増える。きもちいいけどむなしい

裏垢 @OYDlove
あ艦これ。すごいムラムラする。子宮から大淀生みそう

裏垢 @OYDlove
ところで軽巡洋艦の定期診断が近いんだけど、技術本部の要請という名目で性的な検査を行うことを思いついた私は天才かもしれない

裏垢 @OYDlove
これくらいの役得があってもいいですよ？

天龍型一番艦 天龍

胸部装甲

「じ、じろじろ見んなよ……」
「いやあ、さすが世界水準超え
だなんて思いました……ふわあ、
すごい、ふかふかだけど張りも
ある」「こら、揉むな！ 龍田
かお前は」「やつぱり揉んでも
らってるんですか？」「別にオ
レが頼んだわけじゃねーよ……
まあ、なんだろうな。安心する
んだろうな、あいつ」遠い目を
する天龍。昔の記憶が甦ります
トラックで龍田を直してあげて
いたとき、彼女はひとりガダル
カナルへ進出している天龍をい
つも心配していました。修理は
長引き、第十八戦隊司令部は涼
風ちゃんに乗ってラバウルへ。
しばらくのち、涼風ちゃんや磯
風ちゃんとの作戦行動中に天龍
が沈んだとき、龍田はまだ、ト
ラックで修理中でした。

下着姿

「これ完全にお前の趣味だろ」「ぎくっ」いきなり天龍に見抜かれちゃいま
した。「わ、わかっちゃいます？」「バレバレだっつもの……AVとかのやり
くちマンマじゃねーか。まあ、いいけどな。お前にやいつも世話になってる」

陰部

「あなたのここ、好きですよ」綺麗に生い茂る陰毛を撫でました。「好きも
嫌いもあんのか？ こんなどころ」「パーツとして綺麗だから……って言っ
ても、夕張くらいしか理解者がいないんですけどね」「このフェチコンビめ」
「それに、龍田にたくさん愛されてるのがわかる。このあたりの毛が短いの
セックス中に龍田が噛み切うちやっつたんでしよう？」「……ご明察だよ」



性器

「くっそ、さすがにハズいぞ」
 赤面しつつぐにゅと広げられ
 た陰裂に、そつと指を添えま
 した。「いつ見てもエロいお
 まんこ……ひだひだが黒ず
 んでて、分厚くて。こんな大
 人っぽいおまんこの軽巡、あ
 なたと阿賀野たちくらいよ」
 「お前、そんなにオレの……」
 見てんのかよ」「実はお風呂
 とか、修復中どかにバッチリ
 観察してました！」「こっつの
 変態工作艦！」

自慰

「ん……はあっ……」「すごい……」勇ましい天龍
 が、切なげに顔をゆがめ、とろとろと愛液を零しつ
 づける膣口を責めたてています。さらに、大きな胸
 を持ち上げ、乳首を舐めながら……。「龍……田あ」
 その姿をオカズに、私も天龍と同時にイきました。

放尿

「ささっ、遠征中ど
 同じようにやってみてよ！ 駆
 逐の子たちと飛ばしっこしてる
 んでしよう？」「くっっ！」じよおおお……
 天龍がしゃがんで足を開くが早いか、綺麗なお
 しっこが勢いよく飛びだし、放物線を描いていきま
 した。すごい飛距離です。「オィ、かかっていきま
 ぞ」「むしろがけちやつて！ 超エロいです！」

天龍型二番艦 龍田

下着姿

「天龍ちゃんも私もお世話になっただけから、特別ですよ」下着姿でふんわりと微笑む龍田。綺麗な人です。綺麗で、どこか哀しい人。「昔もこうして、あなたに見てもらったなあ」「あのころは、お互い鉄の塊でしたけどね」「……ほんとうに、お世話になったわ」「……」トラックで龍田を診ている最中、天龍は沈みまじた。

胸部装甲・陰部

そつとブラを外してあげると、豊満なおっぱいがぷるんと弾みました。天龍ほどじゃないけど、彼女も軽巡洋艦の中では豊満なほうです。「天龍ちゃんにおっぱいあげたいなあって思うけど、おちちが出ないの。明石さん、なんとかならないかなあ」「イヤさすがに……」そしてパンツを脱がせました。綺麗に陰毛の剃られたデルタが顔を覗かせます。「手入れ、欠かさないといいよね」「こうしたら、天龍ちゃんが触りやすいでしょう？」



性器

「よく、見えるでしょう？」天龍よりは幼げな小陰唇を片方指で広げながら、余裕げな態度を崩そうとしな
い龍田ですが、明らかにキョドッています。思うんで
すけど、龍田って気が強くて天龍が好きすぎるだけで
あとは普通の女の子ですよね。後ろから声をかけると
びっくりして飛び上がるくらいには、六駆の子たちは
そういうところを見抜いているから懐いているのかも
天龍を亡くした縁もあるとは思いますがすけど、
六駆を率いた縁もあるとは思いますがすけど、

放尿

「こんなもので興奮するなんて、いやらしい人ねえ」「いやあ、元・船だった
身としては、排水チエツクは大切じゃないですか」「かかっても知らないわよ」
しゃあなあ……立ったまま突き出されたお尻の下から、黄色がかった尿が排出
されます。「はあ……龍田のおしっこ綺麗」「恥ずかしいなあ……天龍ちゃ
んだったら、いつも駆逐ちゃんたちとおしっこ遊びしてるのよ。困っちゃうわ」
あんなふうだから、天龍ちゃん、誰とでも仲良くなれるのかなあ」

自慰

「天龍ちゃん」と離れて遠征に出ることも多いけれど……ダメ
ね。夜までかかったりしたら、不安で頭がおかしくなりそうに
なるの。落ちつくにはね、こういうこと……するしかないの。
駆逐ちゃんは見ないふりしてくれる。その……やり方を教えたの。
こともあって、あとで天龍ちゃんに怒られちゃったけど、遠征
から帰って、部屋で天龍ちゃんの顔を見たら、その場で、遠征
つもよりいっばい愛しあうの……私、壊れたまま艦娘になっ
ちやっただのね。でも、天龍ちゃんはこの私を認めてくれるの。
駆逐ちゃんたちも艦隊のみんなも。だから、これでいいの。」



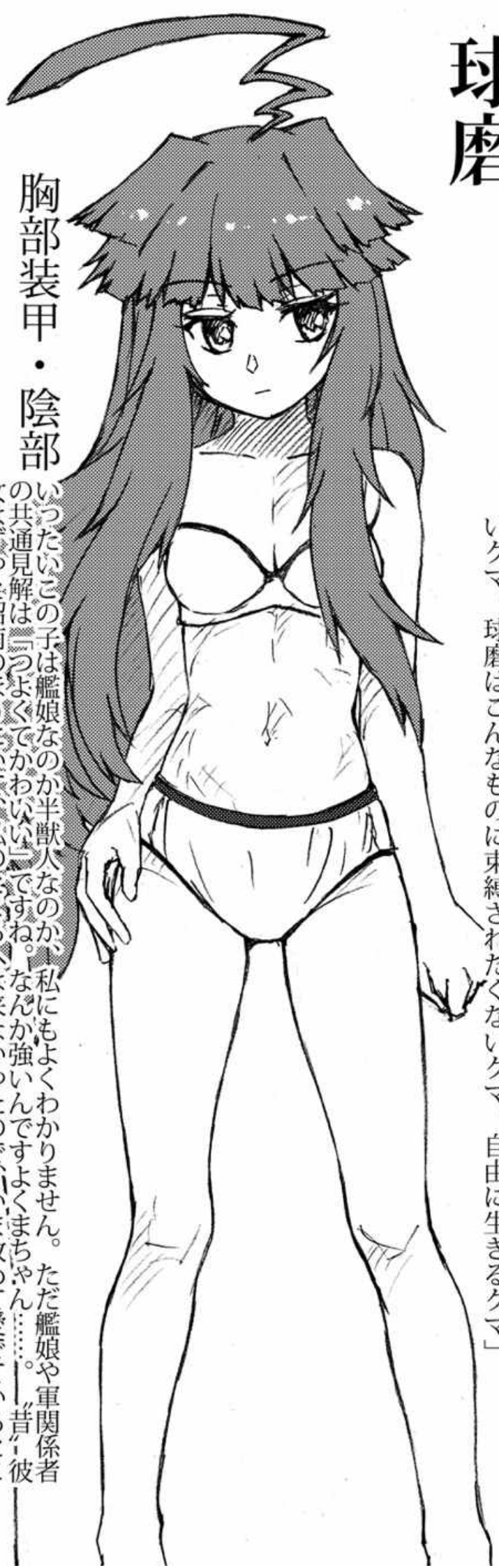
球磨型一番艦

下着姿

「はあーいくまちゃん、脱ぎ脱ぎしましようねー」 「明石は球磨を何だと思ってるクマ……」 「ぼやきながら下着姿になるくまちゃん。ほんつとかわいいですよねえ。」
「あら？ 珍しくブラつけてるんですね」 「大井や五十鈴がつけろつけろとうるさいクマ。球磨はこんなものに束縛されたくないクマ、自由に生きるクマ」

胸部装甲・陰部

「いったいこの子は艦娘なのか半獣人なのか、私にもよくわかりません。ただ艦娘や軍関係者の共通見解は『つよくてかわい』です。なんか強いんです。よくまちゃん……。昔、彼女はずっと昭南のほうにいて、私のところへは来なかつたので、いま改めて愛でているところですよ。ああ、この未成熟なボディ。夕張みたいなのにロリコンじゃないんですけど、これはそりませぬ。工廠が変態のすくつになつてるクマ……」



性器

「こんなどころあんまり見ないでほしいクマ……」
 「そっど開かれた大陰唇の中には、まだ未発達な小陰唇や小さな膣口が……」
 「くまちゃんも照れるのね」「当たり前だ！」「球磨だつて……女の子だ！」「クマ。裸になつたりおまたを見られたりしたら恥ずかしくて冬眠したく……」
 「なるクマ……」「え……」
 「熊つて恥ずかしいと冬眠するんですか？」「球磨は熊じゃないクマー！」



性教育

「くまちゃん……ひとりエッチはね、自分でこういうことをするんですよ」「くちゅくちゅくちゅ」「こ……こう、いうことしたらいけない、クマ……」「いいのよ。エッチな気持ちになるのも、エッチなことをするのも、何も悪くないんです……」「気持ちいい？」「んっ……」
 「からだ、があつて、クマ……」「あ……すごく濃いのが出ましたね……どろって、いま、イかせてあげますから……」
 「ふあ……あ、ああああ!!!」



放尿

「こんなどころを見られるなんて……」
 「排せしながらうめくくまちゃん、ん。「おしっこくまちゃん、かわい。駆逐の子みたい」
 「うう……球磨は軽巡洋艦の戦隊にはかり付いたから、あんまり駆逐艦と付き合いがないんだクマ」
 「戦争中は北上・大井や長良たちと一緒に作戦行動していたくまちゃん、長良型の上の子たちにはお姉ちゃんとして懐かれていますよね。自分の妹たちにはわりと雑に扱われていますけど。」

球磨型二番艦 多摩

下着姿1・胸部装甲

くまちゃん(熊?)なら、妹のたまちゃんは……まあ、猫ですよ。衆目一致するのは、夕張が好きアニメの主人公もそんな愛称で、すごく強かったような記憶があります。って、「たまちゃん、ブラは?」「取ったにや。多摩をあんなもので束縛しないでほしいにや」ううむ、さすが姉妹。お姉ちゃんとの違いは、妹たちの顔を立って一応つけるか、まったく無視してフリーダムに生きるか、ですね。それでも妹たちには愛されていますが。

下着姿2・陰部

「でもせつかくかわいいブラなんだし、つけまじようよう。選んでくれた大井さんに免じて」
「むう……だつたらブラをつけるから、パンツを脱ぐにや。上も下もつけるのはごめん」
「!?」な、なんか偶然とはいえず、い絵面になってしまいまじたよ。ぽよんとしたおっぱいが隠れ、そのかわりくまちゃんよりも少ない陰毛と幼い割れ目があらわに……「明石さん、鼻血出てるにや」



性器

くにつ、と小さな陰裂を押し
 広げました。とろり、と白濁
 した愛液が零れます。「あれ
 ……たまちゃん、興奮してま
 す?」「こんな…えっちな
 ことされたら、多摩だつてド
 キドキするにや。」おおう。な
 んだか意外です。そういう感
 情からはわりと縁遠いほうだ
 と思つていました。くまちゃ
 ん同様。「闘争本能高いから
 ……性欲も強いにや。ひとり
 で触ったりもするにや。くま
 キソ、なち、いろんな子とい
 やらしいことをする想像する
 ……にや」

放尿

「なんでメス猫がおしっこするポーズをとる必要があるんですかにや
 ……」「いやあ、やっぱり似合うかなつて」「何度も言うけど、多
 摩は猫じゃないにや」じよろ…シユ…「あら、いっぱい出
 ますね。猫は腎臓悪くしやすいから気をつけないといけませんよ」
 「多摩の話聞くにや!」…ふう「ん」…おしっこの匂い、好
 き…」「…ちなみに猫じゃないけど、わりとネコ希望だにや」

交歓

「ごい…こういうことされたかったクマ?」「あ、あつ」
 たまちゃんの希望で、くまちゃんとの逢瀬をセツテイ、
 してしまいました。戦争中は北方と南西方面に分かれ、
 いに一度も顔を合わせる事がなかっただけに、思慕の念
 は強いようです。「こんないやらしいことするのはじめて
 だクマ…多摩がこんないやらしいとも知らなかったク
 マ」「にやあ…もつと、してえ…にや」

球磨型三番艦 北上

下着姿

重雷装艦大井です！ 明石さんの了承をとって、北上さんとお互いをレポートしちゃうおうということになりました。北上さんのいいところ、たくさん知ってもらえると嬉しいですよ！ ついでか、知りなさい。まずこのずん胴！ くびれが皆無！ 胸だって私が何度もお願ひしてやっとジュニアブラつけたくらいさ。さやかさ。そして子供はんつ。別にロリコンじゃないですけど、素敵ですよ。



球磨型四番艦 大井

北上だよ。なんか大井つちがノリノリで脱いでるので、あたしもなんか言うね。んー……と言つても、いつも見ているからなあ。まあそうねえ、肉付きいいよね。あたしやこのとおり、くちく並のロリ体型だけど、なんか球磨型で大井つちだけこうなっちゃった。面白いよね。艦娘つて。あと、なんか、下着がいつもかわいいんだよ。五五〇〇トン級では大井つちと五十鈴と由良がおしゃれだね。那珂ちゃん？ あの子「オフの日」はジャージとか着てるよ。



陰部

重雷装艦として二回目の改造を受け、今では最高練度章持ちの私たちがですが、外部装甲は最初の改造後のほうがかわいくて好きなんです。こんなイケナイ写真も似合うしね。見てください、北上さんのあるんだかないんだかわからないお胸！ まだ生えそろうたというには心もとない下の毛！ あんまりちぢれていなくて、いい手触りなんですよ。

ううう、これまるつきりエロ写メみたいでかズいよ大井っち……。でも大井っちも耳まで赤くなって、肩先から少し震えているのが伝わるから、いっぱいいっぱいなんだね。あたしなんかより全然いい身体してるのにさ。すごいでしょ、大井っちのおっぱい。枕にするとホント気持ちいいんだ。五十鈴も名取も、あがのんたちもでっかいけど、やっぱり大井っちが一番だよ。だって、その……吸わせてくれるのは大井っちだけだし、大井っちのおっぱいを吸っていいのも、あたしだけだから。



北上さんの大事なところなんか、誰にも見せたくない……という気持ちと、この素敵なところをあまねくすべての衆生に知らしめたいという気持ちがちややまぜになります。ホラ……毛はまだ少ないけど、こっちはけっこう成長してるんですよ。北上さん。少し大きめのお豆さんとか、厚ぼつたい花びらとか、濡れてテラテラ

光ってて、エッチでしょう？ 濃いめに色づいてるのが北上さん、ちよつとコンプレックスらしいんですけど、いいんです。北上さんが一人前の女性なんだって証なんですから。私はこの、北上さんのいやらしいおまんこが大好きです。

は、恥ずかしくて轟沈しそうだよ……。ホント、身体がくちくちみたくないな幼児体型なのはそこまで気にならないけど、なんでこだけこんなグロマンなんだろうって。大井つちはさ、あだしと逆で、おっぱい大きくてむっちりして、あそここの毛もたくさん生えてるけど、その……あそこはわりと小さめなんだ。ホラ、ひだもピンク色で、かわいいでしょ？ クリも剥かないと顔出さないし。こだけ取り替えたいなーって

思うけど、大井つちが褒めてくれて……興奮してくるのは、その、気持ちいいから、まあいいかなって……うわーハズい！

まあね。まともじゃないと自覚して。大井つちとあたしの共存つぷり。ずっと一緒にやっできたのに、あたしが入渠中に沈むことになった大井つちの哀しみとか、大井つちを亡くしたうえにあんなものを積み重ねて最後まで生き延びたあたしの絶望とか。そういうものが、あたしたちを歪めたんだらうね。あたしたちが今を生きるには、あの人たちのぶんまで生きていって思うには、きつとこういうことが必要なんだよ。



放尿

「お、大井つち……出る……」
 「出してください……私も一緒に……」
 「私の抱えた足のあいだから、勢いよく北上さんのお小水が排泄されはじめました。甘い匂いのアンモニア臭は、北上さんが、ややキツとして今を生きている証。私も、自分分の証を出します。……生きています。私たち。」

球磨型五番艦 木曾

下着姿

あの……木曾くん、質問いいですか？「下着について以外ならいいぜ」やっぱり自覚あつたんですね……なんというか、一段とかわいい下着で。「うるせえ！姉さんが押しつけやがったんだよ！」姉さん……ああ、大井さんですわね。でも、わりと普段からこんな感じですよ、ね、見た目によらず。「くっ……いいだろ別に。俺はこういうのが好きなんだよ」うあ、木曾くんがわいい……。私も色々着せたいです。まあ脱がしてますけど。

胸部装甲・陰部

木曾くんも、昔「はほとんど北方にいたので、艦娘になって親しく接するようになったんですが、最初天龍と同じジャンルなのかなど思ってたんです。見た目的にも、だんだん違いがわかってきました。天龍は根っからの長女気質で、人を引っぱる才能みたいなものがあるんですが、木曾くんは重雷装艦になつても「末っ子」そのもの。どれだけふてぶてしそんでも、並み居る「お姉ちゃん」たちには逆らえないんですよ。まあ大井さんたちは虐げるところか、溺愛してますけどね。いえ、はい、正直に言います。予想外に幼い身体つきにちよつと動揺しているのをごまかしています。なんだろうこのヤバさ。



放尿

「この変態……」ちゃあああ……
 しゃがんでおしっこを出しながら、
 私を睨む木曾くん。「ごめんね、
 でも、とてもかわいくて、エッチで
 すよ。私、すごく興奮してます。
 ホラ……」下着の中に指を入れて
 引き抜くと、白く濁った液体が絡
 みつき、とろりと糸を引きました。
 「木曾くんのおしっこで、こんな
 になっちゃいました」「……」排
 泄を終えた木曾くんの陰裂から、
 おじつこの匂いに混じって鼻をつ
 く女の香りが……

性器

「お前勝手に広げて見てろ。俺が自分でやるなんて、ごめ
 んだ」涙目で、茹でダコみたいになつて、木曾くんの頬
 にそっとキスしてから、「お言葉に甘えさせてもらいました。
 うわあ……ゆ、夕張なら尻尾振つてむじやぶりつくかもし
 れませんが、小陰唇もほとんど目立たないこの口りまんは、
 私には刺激が強すぎます……」あ、あんまりいじらない
 でくれ……へんな気分になっちゃう」

自慰

ん……ふうっ……と切なげな吐息を漏らしながら、魚雷に性器をこすり
 つけています。水雷戦メイシの子たちは、けっこうやるみたいですね。整
 備担当者としては、粘膜を傷つけたり、何かに感染したりしないかと、
 ちよつとハラハラしますが、木曾くん、誰かを想つてしているのですよ。
 うが、あとで訊いてみたら、それは秘密だ、海の底まで持つていく、と
 少し淋しそうな顔で言われました。あなた、隠し事下手なんですよ。



「ちよつと肉つきすぎちゃったかなって」上半身はスポブラ、下半身はブルマという格好ながら走りこみをやっているからでしょう。実はエロいと評判なんですけどね。そのことを教えたなら「え、ええええっ!?」真っ赤になって驚愕していました。やっぱりこういう子は純情なんです。かわいいなあ。

胸部装甲・陰部

「ぜ……全然気づきませんでした。私、そういうのに疎くて……」急にもじもじははじめた長良を容赦なく脱がせます。露わになる、鍛えあげた肉体。厚みのある大胸筋のうえに乗った小ぶりの乳房や柔らかそうな陰毛がエロいのはもちろんです。機動隊や巡洋艦の護衛として、最新鋭の駆逐艦たちと海原を駆けつけたの記憶が、彼女に速力を渴望させるのでしよう。そういえば私が最後に直した軍艦は彼女でした。

性器

「ここへ触ったこと、ありますか？」「な、ない、です……」
 さもありなん、と思いつつ、発育のにぶい小陰唇をつついたり、
 クリトリスを包皮のうえから撫でたり。汗とおしっこで分泌物の
 混じったツンとした匂いが鼻腔をくすぐって、私は自分の性
 器も湿り気を帯びるのを感じました。

自慰

「どう？ 気持ちいいでしょう」「んっ、
 ふ、きも、ち、いいです」「高ぶってる
 ときは、走るのもいいけど、こうやって
 発散する方法もあるんですよ。オナニー
 に慣れると、魂がより身体に馴染んで、
 さらに性能を発揮できるという仮説を、
 私と夕張で立てているんです」「あ、あ、
 なんかくる、くるっ」「思いつき感じ
 て！ 身体の欲求を受け止めてください」
 「ふああああ」

放尿

「お、おしっこ……」「そう。走りこみの最中とか、物陰でちーって済ませてる
 じゃないですか」「み、見てたんですかあ！」「たぶん知ってる子は多いですよ。
 私もかわいいなあとと思って見てました」「そんなあ」「ささ、やつちやいまじよ
 うよ。いつもみたいに」「うん……笑わないでくださいね？」「ちよろ……ふじや
 あああ……」「あつ……やつぱりすごい勢いで鍛えてるからですかね」「わ、わか
 んないです！」「はあ……いっばい出てる。かわいい……」

長良型二番艦 五十鈴

下着姿

「あなたも大概ヒマよね。こんなエッチなこと思いつくなんて、下着姿の五十鈴が笑います。「ヒマなもんですか。あんまり忙しすぎて、つい思いついちゃったのよ」口を尖らせる私。対潜装備の整備で工廠を訪れることの多い五十鈴は、気がついたら気さくに話せる間柄になっていました。その、シモな話なんかも。「まあ、いくらでもオカズにするといいわよ」

胸部装甲・陰部

決して大柄ではない長良が全身を鍛えているのに対し、五十鈴は軽巡洋艦には珍しいくらい長身で、全体的にがっちりしています。何よりおっぱい！ おっぱい！！ 二回目の改造を経でまさかこんなことになるとは。大きさを妹の名取に歩譲りますが、張りがあつて若さの塊という感じ。ドックでたまに、駆逐の子に揉ませてやっでいるのを見かけます。三十六戦隊の部下だった卯月ちゃんや皐月ちゃんなんて、ちゅっちゅど吸うことさえ！「夕張姉ちゃんでは無理だからなあ」なんて皐月ちゃん笑ってました。

性器

「ちよつと、興奮しすぎよ明石」
 本人だつて真つ赤になつて目を
 潤ませてくせに、五十鈴が
 笑います。以前、その、深夜に
 ドックで猥談しながら、見せ合
 い……になつたことが。「だつ
 て、五十鈴のおまんこ……すご
 く、エロいから」「エッチ照
 れる五十鈴の「いやホンと、指
 左右に引き伸ばされた厚ぼつた
 い小陰唇とか、びよこんど顔を
 出して、真珠みたいなの、周
 リスとか、おしつこの穴の周
 のぐねぐねした肉とか……み
 な愛液で濡れて、工場の明かり
 を反射してキラキラ光つてい
 るんです。エロいなんて、や

放尿

はじめて女の子のおしっこを間近で見たのは
 その「見せ合い」のときでした。好奇心に駆
 られて……なんです。二人とも大興奮。私
 はその週だけで軽く十回以上、五十鈴の放尿
 をオカズにしました。そして、「明石のせい
 で、五十鈴も変態になつちやうな。ねえ、
 今、おしっこ出す五十鈴の目の前でオナつて
 みてよ」「ん……」「……言うまでもなかつ
 たようね。ん、出るわよ……」「しよるろろ
 ……」「こんなの、卯月や皐月に見られたら
 笑われちゃうかな……それとも夕張あた
 りに食べられちゃうのかな、あの
 子たち」「はあ、はあ」「明石、す
 ごい顔……もうちよつと出るか
 ら、終わる前にイッちゃいなさ
 い」「ふっ、ふっ……つつつ!!」
 「……ふう。すつきりした。
 明石のオナニー見ながら放
 尿するのもオツなものね。
 ねえ……変態工作艦さ
 ん。五十鈴のおまんこ
 綺麗にしてよ」

あとしまつ

「ん……明石、べろ、すごい
 気持ちいい……そう。ついてるお
 しっこ全部舐めとつて……あっ!!」
 「あか、し……イかせて……」
 「ごめん……明石の顔汚して
 しまつたわね。大淀に怒られちゃ
 う」「ねえ……ちゃんと、大
 淀にしてあげなさいよ。イヤ、大
 淀のおしっこ舐めろつてことじゃ
 なくて。あなた臆病すぎなのよ。
 あの子の気持ちなんて、あなたが
 一番よく知ってるでしょう?」

長良型三番艦 名取

下着姿

「え、え、えええっ!?」これから何をするのかを聞かされた名取、目をまん丸にして驚き、たちまち真っ赤になりました。「そ、そんなの、恥ずかしいです……」
「大丈夫よ、名取。五十鈴もついていてあげるわ。」
「い、五十鈴お姉ちゃん!?」さらに驚愕の名取。まあ、五十鈴全裸のままですからね……。それでも外部装甲を脱ぐ名取は五十鈴大好きっ子。

胸部装甲・陰部

「あんたまた育った?」意を決した名取が、全裸になるや、巨大すぎる胸部装甲を容赦なく揉みしだく。五十鈴「ふえ……れ」
○五センチだけだからくすぐったそうにしながら名取。元々「ちよっと大きめかな?」くらいの印象でしたが、改造したところからぐんぐん成長を始めて、今では一航戦や三航戦、雲龍あたりにもひけをとりません(当然、瑞鶴よりはるかに大きいです)。五十鈴「ぱいが若々しい張りを持っていますのに対応し、名取はまだまだ生えそろわず、割れ目があらわになっています。」



性器

「ホラ、明石見える？」「あ……」
 くばあ、と五十鈴に性器を広げられ、
 名取が震えています。「かわいおれ
 まんこ。まだヒダのところもピク
 色です。毛も少ないし、駆逐艦み
 たい」。「よかつたわね名取。明石が
 あんたのおまんこ気に入って、ち
 みた。五十鈴も好きよ、ちっちゃ
 くてかわい名前まんこ」「えう
 左右からおい名取まんこ」「えう
 され、名取が目を回しかけています。
 ちよつとやりすぎたかもと反省。



放尿

「よいしょ、つと」五十鈴、名取のひざの裏を抱えこむとひよいつと持ち上げ、私に
 向けて股間を晒しました。いわゆる赤ちゃんしーのポーズです。名取が時折しゃ
 くり上げるので心配になりましたが、股間をよく見ると膣口から濃い愛液がとろり、
 と垂れているので、どうやら興奮しきっているだけのよう。「さ、名取、お姉ちゃん
 と一緒にしつこしよう。明石の顔にかかるくらい出しちゃいなさい」「は……い。
 明石さん、名取、おしっこ……します」ん、と力を入れてきつかり二秒後、陰裂から
 お尻へ幾筋かの流れが生じたかと思うと、じよろろ……と放尿が始まりました。同
 時に、切なげな鼻息を漏らした五十鈴も、名取を抱え上げたまま立ちシヨン開始。名
 取のほうは少し黄色くて、匂いも強いです。「名取、我慢してたの？」「うん
 ……今日、はじめて」「あんまり我慢しすぎると身体悪くする
 出してすつきりしちやいなさい」しやああ……名取の
 工場の床にはすつかり水たまりができていて、
 尿が流れこんでいます。私も思わず
 んで水たまり目掛けて、しゅっ
 おしつこの勢いすごいわね。
 出ちやつた」「ん、もう少し
 尿を終えました。と、名取が
 「名取、愛おし
 ……とやりはじめました。「明石
 ……結局、私と名取は同時に排
 ……全身を震わせています。
 ……五十鈴の言葉に、首を縦に振る名
 ……頭にキスをする五十鈴
 ……光景でした。」



朝潮型五六番艦 山雲

下着姿1・ 胸部装甲

あ、ご無沙汰しています。防空駆逐艦秋月です。なんだか許されて、艦隊にいます。むしろ皆さんと仲良くなっちゃいました。なんで？それはともかく、あのあとほどなく、山雲さんが見えなくなったんですよ！もう朝雲や野分さんが大泣きして大変でした。で、朝雲が私に言うんです。「山雲とも……その、『裸のつきあい』しようよ。仲間にならんだからさ」アイエエ！？それはあの、嬉しいですが。

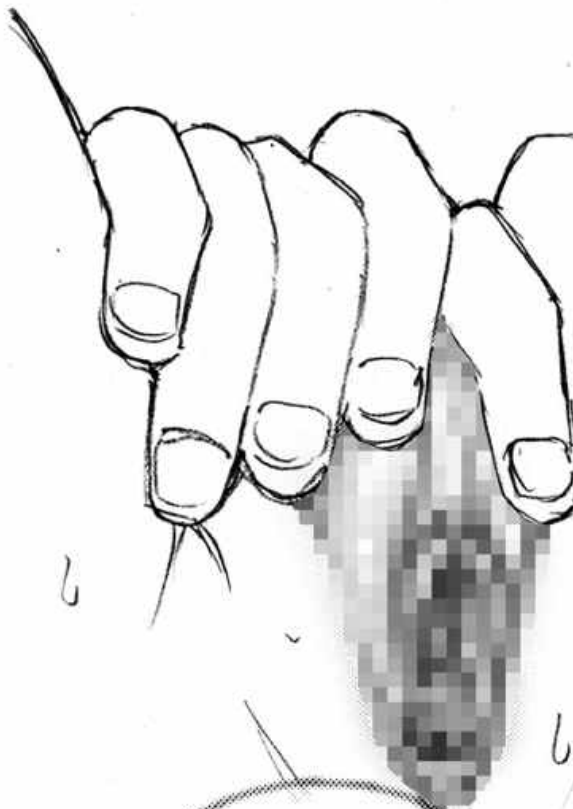
下着姿2・陰部

「まあまあ秋月さん、ご無沙汰してましたわ。これからよろしくお願いたしますわ。え？あらく、そんな楽しいことをなさっていたのね。山雲も朝雲姉のおしっこ見たかったですわ。ええ、もちろんいいですわ……なんだかすぐあつさりと話がまとまって、今、全裸の山雲さんが目の前に。朝雲がガン見しています。朝雲も大概ロリ体型でしたが、山雲さんはずん胴なぶん、輪をかけて幼いです。おっぱいも全然ないし陰毛の方ケラもありませんし。じゅるり。」



性器

「えっとその……見て、いい？」
「もちろんよ。ゆっくり見ていつてね。」ガチガチに緊張している朝雲に対し、あっさりとお開帳してみせる山雲さん。「ちよっ!?」ギョツとした朝雲ですが、しばらくして、「……きれい」ポツリとつぶやきました。「きれい……よね? 秋月」「あ、そのさ、その単語恥ずかしいからあんまり言わないでよ……」「でも他に言い方が……すごく、かわいらしいですよ山雲さん。ちっちゃくて。私の小指も入らなさそうです」「あら、光栄ですわ」「……」「どうやってセックスしようって、今考えたでしょ? 朝雲」「なっ」



放尿

並んでしゃがみこんで、パンツを下げ、おしっこを出す朝雲と山雲さん。照れながら、少し涙を浮かべて、笑いあっています。幸せそうに。私なりの言葉はもう、必要ないでしょう。



- 『おしっこれくしょん 軽巡洋艦編 下』は、3月8日に京都で開催される軽巡洋艦オンリーを目処に頒布予定。
- 『由良もいろいろ試したい』完全版もそのあたりで。
- 当初砲雷撃戦サークルカットに掲載されていた第16戦隊青葉本は、もうしばらくお待ちください。
- そのあとは比榛とか瑞鶴川内とかやりたい。

おしっこれくしょん 軽巡洋艦編 上
Combined Fleet Girls Collection FAN BOOK Vol.08

発行日 2015年01月25日

発行サークル LUNATIC PROPHET
web <http://circle.lunaticprophet.org/>
pixiv id=92903

発行人 有村悠 Yuu Arimura
e-mail edgeoftheseason@gmail.com
twitter id=@y_arim

印刷所 株式会社 くりえい社
web <http://www.kurieisha.com/>

produced by Lunatic Prophet
2015.01.25.

工作艦、明石です。
泊地での××××なら
お任せください!